

出前講座活動報告(平成30年9月4日)

参加者の声

平成30年8月2日(水)出前講座 別府公民館 9:30～11:00(参加者31名)

I.「いつまでも自宅で暮らすために」...(在宅医療)

いちき串木野市包括支援センター 保健師 久保 小百合

II.「がんばりすぎない介護を応援します」

いちき串木野市医師会在宅医療・介護連携推進事業 南新 敦子

健康寿命・・・あまり知りませんでした。

「できるだけ自分の家で暮らして行きたいと思っています。」・・・半数ほどの方が肯かかれていました。「やっぱり元気で家に居て、ポックリ亡くなる方がいいです。」・・・皆さん深く肯かかれていました。

まだまだ自分たちは先の事だと思っていました。

「訪問看護について知ってる」、「利用している」という方の挙手は見られませんでした。

猛暑の中、31名の皆様にご参加いただき、講話を聴いて頂きました。まだまだお元気で体操をされる方々が多く、現実問題として実感が湧かない印象が多かったようでした。

「今後に向けて色々考えていかないといけない事だね・・・」との声もありました。

平成30年9月4日(火)荒川高齢大学 10:00～11:00(参加者24名)

I.在宅医療「がんばりすぎない介護を応援します」パンフレット紹介

マイライフノート 利用・活用について

いちき串木野市医師会在宅医療・介護連携推進事業 南新 敦子

II.講話 『いつまでも自宅で暮らすために...』 訪問看護ステーションさくら 所長 畑中勇二

- ・かかりつけの病院はいちき串木野市ではないが、訪問看護を利用できるのか・・・
- ・訪問看護を受けたい時に、主治医の先生に伝えにくい気がするが、その対応はどうしたらいいか・・・
- ・訪問看護を受けた時の費用はどの位なのか
- ・訪問看護は、病状が安定した状態になっていることが利用の条件だと思っていた。どんな状態の方もお願いできる事がわかって良かった。
- ・医療保険と介護保険での利用について何か違いがあるのか・・・
- ・1日に何人くらいの患者さんを訪問しているのですか・・・

講話が終わったと同時にたくさんの質問がありました。

男性の参加も多く、非常に興味深く熱心に聴いて頂いた印象でした。

高齢大学でしたが、まだまだ現役で仕事をされているような若々しさを感じられる地域の方々でした。



別府公民館



荒川高齢大学